

# Press Release

2019年5月20日

DSM 株式会社  
[www.dsmjapan.com](http://www.dsmjapan.com)

## DSM、2019年度第1四半期決算を発表

### ハイライト<sup>1,2,3</sup>

- DSMの第1四半期の決算は好調
- 2018年第1四半期の基本事業の決算との比較：
  - グループ売上は3%増、調整後 EBITDA は10%増の4億1,200万ユーロ（IFRS第16号の影響1,200万ユーロを含めると14%増の4億2,400万ユーロ）
  - ニュートリション部門：グループ売上は3%増、調整後 EBITDA は11%増の3億900万ユーロ（IFRS第16号の影響700万ユーロを含めると14%増の3億1,600万ユーロ）
  - マテリアル部門：オーガニックの売上は5%減、調整後 EBITDA は1億2,600万ユーロで変わらず（IFRS第16号の影響100万ユーロを含めると1%増の1億2,700万ユーロ）
- 調整済みネット・オペレーティング・フリー・キャッシュフローは6,000万ユーロ
- 当期純利益は1億9,600万ユーロであるが、業界における異例の供給停止を踏まえたビタミンの一時的な影響について1億6,500万ユーロのEBITDAの修正を行うと、2018年第1四半期の3億3,100万ユーロから増加
- 通期業績見通しを上方修正

### 主要暫定数値および指標

単位：100万ユーロ	2019年 第1四半期	2018年 第1四半期			増減（%）				
		基本 <sup>1</sup> 事業	一時的な ビタミンの 影響	グループ 合計	実質 <sup>1</sup> オーガニック・ グロス	FX及び その他 <sup>1</sup>	実質 <sup>1</sup> 成長率 合計	一時的な ビタミンの 影響	グループ 合計
<b>売上高</b>	2,292	2,215	220	2,435	1%	2%	3%	-9%	-6%
ニュートリション部門	1,517	1,430	220	1,650	3%	3%	6%	-14%	-8%
マテリアル部門	717	738		738	-5%	2%	-3%		-3%
<b>調整後 EBITDA</b>	424	373	165	538			14%	-35%	-21%
ニュートリション部門	316	277	165	442			14%	-43%	-29%
マテリアル部門	127	126		126			1%		1%
イノベーション部門	6	-1		-1					
コーポレート部門	-25	-29		-29					
EBITDA	416	361	165	526					
調整後 EBITDA マージン	18.5%	16.8%		22.1%					

<sup>1</sup> 2018年の基本事業の業績は、DSMが可能な限り正確に見積もった一時的なビタミンによる影響を修正した業績指標、売上高および調整後 EBITDA です。

<sup>2</sup> 調整後 EBITDA は、継続事業の業績を対象とした代替的業績指標（APM）です。

<sup>3</sup> IFRS第16号は2019年1月1日から有効であり、2018年の業績は調整されていません。

## CEO のコメント

以下は、DSM 社 CEO 兼取締役会長 Feike Sijbesma (フェイク・シーベスマ) のコメントです。DSM は、マテリアル部門は引き続き堅調で、ニュートリション事業の成長が続いており、今年の第 1 四半期の業績は好調なものとなりました。昨年は、ビタミン業界で供給停止があり、ニュートリション部門で例外的に売上と利益が伸びるというメリットがありました。この特別な事象を除外して決算を比較しても、基本事業では、非常に堅調だった前年同期と比べ、第 1 四半期では調整後 EBITDA の増加率が二桁となるなど堅調な業績となりました。

当社の事業の実績は計画通りに進捗しており、2019 年の見通しについては引き続き達成可能と考えています。DSM はニュートリション、健康、持続可能な暮らしの分野において、目的主導、実績重視の企業であるというコミットメントを原動力として、市場を上回る成長と堅調な業績を実現することを目的とした、意欲的な 2021 年戦略計画目標を達成することが可能となるでしょう。」

## 2019 年業績見通し

2019 年通期の業績見通しを上方修正し、前年度の基本事業の調整後 EBITDA (一時的なビタミンの影響前) に対し 1 桁台後半の調整後 EBITDA の成長と、2021 年戦略計画目標に沿った調整済みネット・オペレーティング・フリー・キャッシュフローの改善を見込んでいます。この見通しは、IFRS 第 16 号の影響を考慮していない点にご注意ください。

## DSM - Bright Science. Brighter Living.™

Royal DSM は、栄養、健康、持続可能な暮らしの分野において意欲的に事業を展開する目的主導型のグローバル企業です。DSM は、すべての人々の生活を豊かにすることを目指しています。利害関係者の皆様、すなわちお客様、社員、株主の皆様、そして社会全体に対して経済的、環境的、社会的価値を創出しつつ、自社の製品とソリューションを駆使し、世界で最も重大な課題の解決に取り組んでいます。DSM は、食品や栄養補助食品、飼料、パーソナルケアおよびアロマ、医療機器、環境に配慮した製品および用途、新たなモビリティとコネクティビティの分野において革新的なソリューションを提供します。DSM および関連会社の年間の純売上高はおおよそ 100 億ユーロで、社員数は約 2 万 3,000 名です。1902 年に設立された DSM は、Euronext Amsterdam に上場しています。詳細は [www.dsm.com](http://www.dsm.com) をご覧ください。

\* 本リリースは 2019 年 5 月 7 日に DSM 社から発表されたプレスリリースを抄訳したものです。

### 本リリースに関するお問合せ先

DSM (株) 広報事務局 (アズ・ワールドコム ジャパン株式会社内) 担当: 水谷、中里  
TEL : 03-5575-3221 / e-mail : [atsutake@azw.co.jp](mailto:atsutake@azw.co.jp) (水谷) 、 [kaoru@azw.co.jp](mailto:kaoru@azw.co.jp) (中里)  
DSM 株式会社 担当: 龍、大木  
TEL : 03-5404-8336 / e-mail : [Shintaro.Ryu@dsm.com](mailto:Shintaro.Ryu@dsm.com) (龍) 、 [Nahoko.ohki@dsm.com](mailto:Nahoko.ohki@dsm.com) (大木)